

# Accessibility Developer Community Kickoff Meeting 2018

-アクセシビリティ デベロッパー コミュニティ キックオフ ミーティング 2018-

～さあ集まろう、Accessible な社会をテクノロジーで実現するために。～

誰もが身体状況や環境の変化によっては生活機能に困難を抱え、いわゆる“障害”という状態になります。これが WHO の定義した国際的な“障害”の定義です。障害は特別な状態ではありません。そろそろすべてのエンジニアは、社会や友人や家族、そして自分のためにアクセシビリティを考えるべき時期に来ているのではないのでしょうか。

AI などの最新技術，障害に関する最新情報，実践を通じた経験・・・

それぞれが有している技術・知識・経験を共有し、生まれたアイデアをブラッシュアップすることで、全てのヒトにとって Accessible な環境を一緒に実現してみませんか？

- 日時：2018年9月25日（月）13:00～17:00  
（懇親会：17:30～）
- 会場：日本マイクロソフト株式会社 品川本社
- 主催：一般社団法人日本支援技術協会
- 共催：日本マイクロソフト株式会社
- 対象者：障害者や高齢者の生活に役立つソフトウェアやハードウェア開発に興味のあるエンジニアや研究者
- 定員：40名
- 参加要件：事前に Accessibility Developer Community (<https://adc.connpass.com/>)に参加してください。
- 参加費：無料（懇親会含）
- 申込方法：次のページからお申し込みください。  
<https://adc.connpass.com/event/101056/>



【プログラム(予定)】

※予告なく変更となる場合があります。

時間	内容	備考
12:30	受付開始	
13:00	開会挨拶	(一社) 日本支援技術協会
13:05	特別講演	日本マイクロソフト (株)
13:50	障害を理解する	
~14:10	A.視覚障害を理解する	石井暁子さん 視覚障害のある母親・主婦の立場から生活での困りごとや見出した解決方法、今尚、解決できないことをお話しいたします。
14:10 ~14:30	B.知的/発達障害を理解する	小川修史さん (兵庫教育大学 准教授) 発達障害や知的障害の子どもは何に困っているのでしょうか？ 本人の要求と周囲の理解のズレや、生活支援の着目点についてお話しいたします。小川さんは、特別支援教育における支援技術の研究者です。
14:30 ~15:00	C.肢体不自由を理解する	板倉ミサヲさん 伊藤史人さん (島根大学 助教) 脳性麻痺で 77 歳の女子高校生ミサヲさんの生活での困りごとや見出した解決方法、今尚解決できないことをお話しいたします。サポートする伊藤さんは、重度障害者の生活に役立つ支援技術を開発・啓蒙する研究者です。
15:00	休憩	
15:10	グループ別アイデアソン A.視覚障害 B.知的/発達障害 C.肢体不自由	関心のあるグループに参加して情報交換を行いつつ、AI や ICT を利用した支援方法について、形にするためのアイデアを膨らませてみましょう。
16:10	発表会	
16:40	総評	
16:55	閉会挨拶	
17:00	閉会	
17:30	懇親会	自由参加

本イベントについてのお問い合わせは



〒124-0012

東京都葛飾区立石7丁目7番9号

一般社団法人 日本支援技術協会 担当：事務局/田代

Mail : h.tashiro@jatc.jp